

# 解答解説

## 定期テスト

### くもんの 2時間で ニャンとかできる 中学歴史

#### 中1古代

※〈 〉は別解です。

#### これだけ 1 重要事項 ①

人類は猿人→原人→新人と進化した

- ①  ① 猿人  
 ② 原人  
 ③ 新人 (ホモ・サピエンス)
- ②  ① 打製  
 ② 土器  
 ③ 磨製
- ③  ① 猿人  
 ② 新人 (ホモ・サピエンス)  
 ③ 原人
- ④  ( ア → ウ → イ )

#### 解説 せうぎ

- ① 現在知られている最も古い人類は、約700～600万年前にアフリカに現れた猿人で、直立二足歩行という新しい移動のしかたを身につけた。猿人は、自由になった手を使って打製石器を作った。
- ③ 原人は、アフリカで現在の人類の直接の祖先である新人に進化し、5万年前ごろには世界中に広まった。この時代は旧石器時代とよばれ、木の実などを採集して暮らしていた。

古代文明は場所と名前を一緒に覚えよう

- 1  ① メソポタミア
  - ② エジプト
  - ③ インダス
  - ④ 中国
- 
- 2  ① ユーフラテス
  - ② ナイル
  - ③ インダス
  - ④ 黄河
- 
- 3  ① インダス
  - ② ユーフラテス
  - ③ 長江
  - ④ エジプト
- 
- 4  (イ → エ → ア → ウ)

解説 セラニヤンだ

- 3 四大文明には次のような共通点がある。
  1. 大河の流域に発生
  2. 農耕や牧畜が発達
  3. 文字の発明
  4. 青銅器の使用

中国の国家統一と文明の広がり

- 1  ① 殷 (商)
  - ② 周
  - ③ 秦
  - ④ 漢 (前漢)
- 
- 2  ① 甲骨
  - ② 儒教 (儒学)
  - ③ 仏教
  - ④ シルクロード
- 
- 3  ① 秦
  - ② 儒教 (儒学)
  - ③ 甲骨
  - ④ 漢 (前漢)
- 
- 4  (ウ → イ → ア → エ)

解説 セラニヤンだ

- 3 ① 秦の始皇帝は、前3世紀ごろに中国を初めて統一し、万里の長城を築いた。
- ② 孔子は、春秋・戦国時代の中国で儒教を説いた。
- ④ 前3世紀末、漢が中国を統一し、シルクロードを通して西方との交易を行った。

ヨーロッパの文明と宗教の深いつながり

- 1  ① ギリシャ
  - ② ローマ
  - ③ イエス
  - ④ ムハンマド
- 
- 2  ① ギリシャ
  - ② ヘレニズム
  - ③ ローマ
  - ④ キリスト
  - ⑤ イスラム
- 
- 3  ① イスラム
  - ② ギリシャ
  - ③ ローマ
  - ④ イエス
- 
- 4  (イ → ウ → エ → ア)

解説 セラニヤンだ

- 3 キリスト教とイスラム教、仏教の3つの宗教を世界の「三大宗教」といい、現在も多くの人々に信仰されている。

縄文時代と弥生時代の違いは「稲作」

- 1  ① たて穴
  - ② 縄文
  - ③ 稲作
  - ④ 弥生
  - ⑤ 稲
- 
- 2  ① 貝塚
  - ② 土偶
  - ③ 金属器
  - ④ ムラ (むら)
  - ⑤ 高床倉庫
- 
- 3  ① ムラ (むら)
  - ② 弥生
  - ③ 縄文
  - ④ 稲作

解説 セラニヤンだ

- 3 縄文時代の人々はたて穴住居に住み、縄目の文様がついた縄文土器を使用した。弥生時代に稲作が伝わり、人々は定住してムラを作る。薄手がかたい弥生土器を使用した。

クニの発展と強大な権力を物語る巨大古墳

- 1  ① クニ〈国〉
- ② 金印
- ③ 邪馬台国
- ④ 豪族
- ⑤ 前方後円墳
- 2  ① 奴国
- ② 漢〈後漢〉
- ③ 魏
- ④ はにわ
- 3  ① 邪馬台国
- ② クニ〈国〉
- ③ 古墳
- ④ 金印
- 4  (イ → エ → ア → ウ)

解説

- ① 邪馬台国の場所は、大和(奈良県)とする説と、北九州とする説など、いろいろな学説がある。
- ④ 当時の日本は、中国から「倭」(従順を表す漢字)とよばれていた。

倭国と朝鮮半島をつないだ渡来人

- 1  ① 大和政権〈ヤマト王権〉
- ② 渡来人
- ③ 大王
- ④ 百済
- 2  ① 高句麗
- ② 須恵器
- ③ 漢字
- ④ ワカタケル
- 3  ① 百済
- ② 仏
- ③ 大王
- ④ 渡来人

解説

- ④ 渡来人は日本各地に住み、土木や建築、金属加工や、高温で焼いた質の高い土器である須恵器の製造技術などを伝えた。また、漢字や儒教、仏教も伝えるとともに、大和政権での記録や財政、政治にもたずさわり、その後の日本の技術や文化に大きな影響をあたえた。

仏教伝来と大王を中心にする政治制度作り

- 1  ① 仏教
- ② 隋
- ③ 大王〈天皇〉
- ④ 十七条の憲法
- ⑤ 遣隋使
- 2  ① 摂政
- ② 冠位十二階
- ③ 小野妹子
- ④ 飛鳥
- ⑤ 法隆寺
- 3  ① 飛鳥
- ② 隋
- ③ 小野妹子
- ④ 十七条の憲法

解説

- ③ 大和政権は遣隋使を派遣し、隋と国交を結ぼうとした。さらに、多くの留学生や留学僧を同行させ、制度や仏教を学ばせた。
- ④ 十七条の憲法には仏教や儒教の考え方が取り入れられていて、天皇の命令に従うべきことなどが説かれている。

唐を参考にして律令国家は造られた

- 1  ① 律令
- ② 大化の改新
- ③ 壬申の乱
- ④ 大宝律令
- 2  ① 唐
- ② 中大兄皇子
- ③ 律令
- ④ 朝廷
- 3  ① 大宝律令
- ② 壬申の乱
- ③ 大化の改新
- ④ 唐
- 4  (エ → ウ → イ → ア)

解説

- ③ 大化の改新で行われた公地・公民は、それまで豪族が私有していた土地・人民を国家のものとする改革である。
- ④ 大和政権は、隋にかわった唐に対しても新たに遣唐使を送り、国交を結んだ。

10 重要事項 ⑩

法律・貨幣から見る  
奈良時代の人々の暮らし

- ①  ① 平城京
  - ② 班田収授法
  - ③ 租
  - ④ 墾田永年私財法
- ②  ① 奈良
  - ② 和同開珎
  - ③ 口分田
  - ④ 調
  - ⑤ 私有
- ③  ① 稲
  - ② 荘園
  - ③ 口分田
  - ④ 和同開珎

解説 せうぎゃんぱ

- ② 荘園は、皇族・貴族や寺院の大規模な農地で、全国各地にできた。地方の豪族や有力農民が自ら開発した墾田も増え、こうして公地・公民の原則がくずれていった。
- ④ 和同開珎は708年に発行が始まった貨幣で、おもに都の周辺で使用された。

11 重要事項 ⑪

仏教による国家整備と歴史書作り

- ①  ① 天平
  - ② 東大寺
  - ③ 古事記
  - ④ 万葉集
- ②  ① 聖武
  - ② 国分寺
  - ③ 正倉院
  - ④ 日本書紀
  - ⑤ 風土記
- ③  ① 東大寺
  - ② 古事記
  - ③ 万葉集
  - ④ 正倉院

解説 せうぎゃんぱ

- ③ 奈良時代には、まだかな文字がなかったため、『万葉集』は漢字の音や訓で日本語を表しており、これを万葉がなという。
- ④ 「正倉」とは寺の倉庫のこと。どの大寺院にも正倉はあったが、正倉院という場合は東大寺の正倉院をさす。

12 重要事項 ⑫

藤原氏が権力を独占した摂関政治

- ①  ① 平安京
  - ② 摂関
  - ③ 遣唐使
  - ④ 宋〈北宋〉
  - ⑤ 高麗
- ②  ① 平安
  - ② 蝦夷
  - ③ 藤原
  - ④ 摂政
  - ⑤ 藤原道長
- ③  ① 藤原道長
  - ② 平安京
  - ③ 東北
  - ④ 宋〈北宋〉

解説 せうぎゃんぱ

- ① 道長は、藤原氏の栄華を、「この世をば わが世とぞ思う 望月のかけたることも なしと思えば」とよんだ。
- ③ 東北地方に住む、律令国家に従わなかった人々のことを蝦夷とよんだ。

13 重要事項 ⑬

唐風から国風への変化と貴族文化

- ①  ① 国風
  - ② 寝殿造
  - ③ かな
  - ④ 源氏物語
  - ⑤ 枕草子
- ②  ① 摂関
  - ② 大和絵〈やまと絵〉
  - ③ 紫式部
  - ④ 古今和歌集
  - ⑤ 清少納言
- ③  ① 寝殿造
  - ② かな文字
  - ③ 古今和歌集
  - ④ 国風

解説 せうぎゃんぱ

- ① 「寝殿」とは中心となる建物のこと。寝殿造は、寝殿のまわりにいくつもの建物が廊下などでつながって造られた。
- ② かな文字の普及で、日本語を音声通りに表すことが容易になって、感情を自由に表現できるようになった。

新しい仏教と浄土信仰の広がり

- ①  ① 天台
  - ② 真言
  - ③ 浄土信仰
  - ④ 平等院鳳凰堂
- ②  ① 最澄
  - ② 空海
  - ③ 極楽浄土
  - ④ 藤原頼通
- ③  ① 平等院鳳凰堂
  - ② 浄土信仰
  - ③ 延暦寺
  - ④ 高野山

解説 せうニヤンダ

- ③ ① 平等院鳳凰堂は、藤原頼通がこの世に極楽浄土のようすを作ろうとして、1052年に建てられた。
- ② 平安時代の中ごろ、シャカが亡くなって2000年目から末法に入り、世の中が乱れるという考え(末法思想)が広まり、貴族たちはいっそう浄土信仰を深めた。鎌倉時代の浄土宗や浄土真宗と混同しないようにする。

孔子やシャカらは、〇〇教とひもづけて覚えよう

- ①  ① ムハンマド
  - ② シャカ〈釈迦〉
  - ③ 孔子
  - ④ イエス
- ②  ① キリスト
  - ② イスラム
  - ③ 仏
  - ④ 儒
- ③  ① シャカ〈釈迦〉
  - ② 孔子
  - ③ イエス
  - ④ ムハンマド

解説 せうニヤンダ

- ③ 仏教・キリスト教・イスラム教は「三大宗教」とよばれる。仏教と異なり、ユダヤ教やキリスト教、イスラム教はただ一つの神を信じる宗教であり、これらを一神教という。

古代国家の王と、国家統一の戦略とは？

- ①  ① アレクサンドロス大王
  - ② 始皇帝
  - ③ 卑弥呼
- ②  ① 邪馬台国
  - ② ヘレニズム
  - ③ 万里の長城
- ③  ① アレクサンドロス大王
  - ② 卑弥呼
  - ③ 始皇帝

解説 せうニヤンダ

- ③ ② 中国の魏の歴史書には、「倭国は争いが絶えなかったが、邪馬台国の女王卑弥呼を王にしてようやくおさまった。卑弥呼は魏に使いを送り、金印と銅鏡100枚などをあたえられた」とある。
- ③ 中国を初めて統一した始皇帝は、支配のもととなる、ものさし・ます・はかりや、文字・貨幣などを統一した。

日本にやってきた仏教と聖徳太子の政治

- ①  ① 推古天皇〈額田部王女〉
  - ② 蘇我馬子
  - ③ 小野妹子
  - ④ 聖徳太子〈厩戸皇子・厩戸王〉
- ②  ① 摂政
  - ② 遣隋使
  - ③ 仏
  - ④ 聖徳太子〈厩戸皇子・厩戸王〉
- ③  ① 蘇我馬子
  - ② 聖徳太子〈厩戸皇子・厩戸王〉
  - ③ 小野妹子
  - ④ 推古天皇〈額田部王女〉

解説 せうニヤンダ

- ③ ② 聖徳太子がついた摂政は、天皇が幼かったり女帝だったりしたとき、天皇に代わって政治を行う役職である。
- ④ 女性の天皇を女帝という。推古天皇のあと、飛鳥時代から奈良時代にかけて、多くの女帝が誕生した。

「大化の改新」の立役者  
2人を覚えよう

- 1  ① 中臣鎌足〈藤原鎌足〉
  - ② 中大兄皇子〈天智天皇〉
  - ③ 蘇我蝦夷
- 2  ① 大化の改新
  - ② 中大兄皇子〈天智天皇〉
  - ③ 中臣鎌足〈藤原鎌足〉
  - ④ 大化の改新
- 3  ① 中臣鎌足〈藤原鎌足〉
  - ② 中大兄皇子〈天智天皇〉
  - ③ 蘇我蝦夷
  - ④ 蘇我入鹿

解説 せうぎんぱ

③④ 蘇我氏は、仏教の受け入れをめぐって物部氏をたおしてから力を増し、蘇我馬子・蝦夷・入鹿の3代にわたって権勢をふるった。しかし、蝦夷・入鹿の親子は大化の改新で中大兄皇子らにほろぼされた。

「壬申の乱」の対立関係をおさえよう

- 1  ① 天智天皇〈中大兄皇子〉
  - ② 天武天皇〈大海人皇子〉
  - ③ 持統天皇
  - ④ 大友皇子
- 2  ① 壬申の乱
  - ② 藤原
  - ③ 壬申の乱
  - ④ 戸籍
- 3  ① 天武天皇〈大海人皇子〉
  - ② 大友皇子
  - ③ 天智天皇
  - ④ 持統天皇

解説 せうぎんぱ

③ ①②③ 壬申の乱に勝利した天武天皇は天智天皇の弟であり、敗れた大友皇子は天智天皇の子である。  
「天智天皇」「天武天皇」と、奈良時代の「聖武天皇」を混同しないようにする。  
④ 藤原京は近年の発掘調査によって、東西約5.3kmで、南北もそれとほぼ同様と推定できる京の区域をもつことが判明している。これは、平城京や平安京を上回る規模である。

大陸との交流と  
天平文化を支えた人々

- 1  ① 大伴家持
  - ② 阿倍仲麻呂
  - ③ 聖武天皇
- 2  ① 天平
  - ② 万葉集
  - ③ 遣唐使
- 3  ① 阿倍仲麻呂
  - ② 聖武天皇
  - ③ 大伴家持

解説 せうぎんぱ

③ 奈良時代には遣唐使が何度も派遣され、次々に唐の文化をもたらした。唐は最盛期をむかえており、シルクロードなどを通じてアジア各地から人々が集まっていた。そのため、唐の文化には西アジアや南アジアなどの影響が見られ、日本の天平文化も国際色豊かではなやかなものになった。

日本への仏教布教に尽くした僧

- 1  ① 行基
  - ② 鑑真
- 2  ① 唐
  - ② 唐招提
  - ③ 仏教
  - ④ 東大寺
- 3  ① 行基
  - ② 鑑真

解説 せうぎんぱ

① 行基も協力した東大寺の大仏造りは、のべ200万人もの労力をつぎこんで完成したといわれている。  
② 当時、日本に仏教は伝わっていたが、僧が守るべき正しい規則(戒律)を授けられる僧がいなかったため、鑑真は、日本の僧から来日を強く求められた。

22 重要人物 ⑧

権力をにぎった貴族，藤原氏の政治

- 1  ① 藤原道長
  - ② 菅原道真
  - ③ 坂上田村麻呂
  - ④ 桓武天皇
- 2  ① 平安
  - ② 摂関
  - ③ 遣唐使
  - ④ 征夷大將軍
- 3  ① 坂上田村麻呂
  - ② 桓武天皇
  - ③ 菅原道真
  - ④ 藤原道長

解説 せうぎゃんぱ

- 3 ① 朝廷は724年に多賀城(宮城県)を築き、東北支配の拠点とした。坂上田村麻呂は802年に胆沢城(岩手県)を築いて、蝦夷支配の最前線とした。
- ④ 藤原道長は、4人の娘を天皇のきさきにすることで権力をにぎった。

23 重要人物 ⑨

より日本的に！ 国風文化とかな文字

- 1  ① 紀貫之
  - ② 清少納言
  - ③ 紫式部
- 2  ① 枕草子
  - ② 古今和歌集
  - ③ 源氏物語
- 3  ① 紫式部
  - ② 清少納言
  - ③ 紀貫之

解説 せうぎゃんぱ

- 3 紫式部や清少納言が活躍した平安時代は、遣唐使の停止によって唐の影響が薄れ、日本の風土や生活にあった国風文化が栄えた。また、この時代に普及したかな文字は、日本の言葉や日本人の気持ちを表すのに適していたため、多くの優れた文学作品が生まれた。

24 重要人物 ⑩

山寺と一緒に覚える  
平安時代の新仏教

- 1  ① 空海
  - ② 最澄
- 2  ① 延暦
  - ② 天台
  - ③ 金剛峯
  - ④ 真言
- 3  ① 最澄
  - ② 空海

解説 せうぎゃんぱ

- 3 平安時代の初め、最澄と空海は遣唐使とともに唐にわたって仏教を学び、帰国後に新しい仏教の宗派をたてた。最澄は比叡山に延暦寺を建て天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺を建て真言宗を広めた。どちらの宗派も、都からはなれた山中に寺院を建設し、きびしい修行や学問を行うものだったが、彼らの教えは皇族や貴族の心をとらえた。

テスト  
1

表や図を使った問題  
大事なできごとや用語は、  
表や図に整理してまとめよう

- 1  ① 猿人
  - ② 原人
  - ③ 新人
  - ④ 打製
  - ⑤ 磨製
- 2  ① 租
  - ② 特産物
  - ③ 庸
- 3  ① 聖徳太子(厩戸皇子・厩戸王)
  - ② 十七条の憲法
  - ③ 遣隋使
  - ④ 大化の改新
  - ⑤ 天武
  - ⑥ 大宝律令
  - ⑦ 平城京
  - ⑧ 平安京
- 4  ① 紫式部
  - ② 古今和歌集
  - ③ 最澄
  - ④ 真言宗

解説 せうぎゃんぱ

- 1 人類は、猿人→原人→新人と進化した。
- 2 奈良時代の日本の人口のほとんどが農民だった。律令制度のもとで、人々に土地をあたえ、税を納めるしくみができあがっていった。
- 4 国風文化は、藤原氏による摂関政治の時代に最も栄えた。

テスト 2

地図を使った問題  
どこであったできごとなのか、必ず場所と結びつけて覚えよう

- 1  A エジプト (文明)
  - B メソポタミア (文明)
  - C インダス (文明)
  - D 中国 (文明)
- 2  ア (キリスト教) イエス
  - イ (イスラム教) ムハンマド
  - ウ (仏教) シャカ (釈迦)
  - エ (儒教) 孔子
- 3  ① ウ
  - ② キ
  - } ケ
- 4  ① 平城京
  - ② 平安京

解説

1 大河の名前と文明をセットにして覚える。

2 アはエルサレム、イはアラビア半島のメッカ、ウはインド半島北部のマガダ、エは中国の魯という場所を示している。

3 ①アは筑紫地方、イは吉備、ウは奈良、エは稻荷山古墳のあった毛野を示している。大和政権は現在の奈良県にあったので、ウが正解。

②カは高句麗、キは百済、クは新羅、ケは伽耶(任那)を示している。

4 都は藤原京→平城京→長岡京→平安京と移っている。

テスト 3

写真や絵を使った問題  
人物や建物など、写真・絵があるものはチェックしておこう

- 1  ① 甲骨 (文字)
  - ② 万里の長城
  - ③ 始皇帝
- 2  ① 打製 (石器)
  - ② 縄文 (土器)
  - ③ 弥生 (土器)
- 3  ① 冠位十二階
  - ② 法隆寺
- 4  ① 東大寺
  - ② 浄土信仰

解説

1 ①漢字の起源となった文字で、ものや考え方を形で表している。

②③始皇帝は、中国を初めて統一した人物である。

2 ①打製石器は旧石器時代、磨製石器は新石器時代に使われた石器。

3 ①役人の位を12段階に分け、かんむりの色で区別できるようにした。位の階は一代限りだった。

4 ②藤原道長の子、頼通が、阿弥陀仏の浄土をこの世に再現するために建築した。中には阿弥陀如来像が置かれている。

テスト 4

資料の一部が示される問題  
資料の中にあるキーワードに気をつけよう

- 1  ① 邪馬台国
  - ② 卑弥呼
- 2  ① 十七条の憲法
  - ② 聖徳太子 (厩戸皇子・厩戸王)
  - ③ 推古天皇
- 3  ① 万葉集
  - ② 防人
- 4  ① 藤原道長
  - ② 摂関 (政治)

解説

1 卑弥呼は神に仕えてまじないを行い、それにより諸国を治めたといわれている。

2 聖徳太子は十七条の憲法で、役人の心構えを説くとともに、天皇を敬い、その命令に従うべきであることを定めた。

3 『万葉集』では、柿本人麻呂、山上憶良、山部赤人などのすぐれた歌人たちが自然や恋愛を題材にしてよんだ歌に、当時の人々の感情がよく表されている。

4 この歌は、藤原道長の2人の娘に続き、3人目の娘が天皇のきさきになったときによまれた。

テスト 5

用語の意味を選ぶ問題  
用語→意味が答えられるようにしよう

- 1  ① ウ
  - ② ア
  - ③ ①
- 2  ① じ
  - ② や
  - ③ や
  - ④ や
  - ⑤ じ
- 3  ① 役人 } 色
  - ② 天皇
  - ③ 隋 } 小野妹子
- 4  ① ○
  - ② ×
  - ③ ○
  - ④ ×
  - ⑤ ○

解説

1 人類は長い年月をかけて脳を発達させた。その結果、言葉を使うようになり、情報を伝えあうことで、集団生活を築き上げた。

3 3つとも聖徳太子が行った政策。聖徳太子の活躍した時代は、政治の中心が飛鳥地方(奈良県)にあった。

4 710年、奈良の平城京に都が移された。奈良に都があった約70年間を奈良時代という。

②口分田は、6歳以上の人々にあたえられた。

④調・庸を、成人男子は負担した。



テスト  
6

用語の意味を説明する問題

「なぜ?」「どんな意味?」を  
いくつかのキーワードで説明しよう

- 1  ① 漢〈前漢〉  
 ② 絹
- 2  ① 王  
 ② 墓  
 ③ 前方後円墳
- 3  ① 中大兄皇子  
 ② 公地・公民
- 4  ① 私有  
 ② 荘園
- 5  ① 天皇  
 ② 関白  
 ③ 摂関

解説

せうぎょうだ

- 1 秦にかわって中国を統一した漢は、朝鮮半島から中央アジアまで領土を広げた。
- 2 全国各地にある前方後円墳は、大和政権の勢力に従った豪族たちが、そのあかしとして、共通の様式を取り入れて造ったものと考えられている。
- 3 中大兄皇子は聖徳太子の理想を受けつぎ、天皇を中心とした国造りをめざして政治改革に着手した。
- 4 人口が増加するとしだいに口分田が不足するようになったことなどから、墾田永年私財法が出された。
- 5 摂関政治によって大きな権力を持った藤原氏は、11世紀前半の藤原道長、その子頼通の時代に最も栄えた。